

広報

# ただみ

11  
2014 月号  
No. 534  
平成26年11月10日



水の郷うまいもんまつり…… 2～3

新種サンショウウオの発見・秋季消防検閲式… 4～5

第52回駅伝競走大会・小学校体育交歓会…… 6～7

ふるさと大使へ委嘱状を交付 他…………… 8～9

町の話…… 10～11



## タイムカプセル埋設式

日時：平成26年10月9日(木) 場所：国道289号 8号トンネル新潟側抗口



### 今月の表紙



10月9日、只見町と新潟県を結ぶ289号国道八十里越区間の8号トンネル前でタイムカプセル埋設式が行われました。埋設式には只見・朝日・明和小学校の3・4年生と三条市の森町小学校の児童約80名が参加し、八十里越の早期開通を願い将来の自分へ宛てた手紙や写真をタイムカプセルに入れて全員で土に埋めました。

八十里越区間が早期に開通し、この日の参加者が再び集まる日が一日でも早く来ることが望めます。





## たくさんの「うまいもん」が集まった2日間!!

10月11日～12日の2日間にわたり只見駅前特設会場で水の郷うまいもんまつりが開催されました。昨年までは「水の郷まつり」と「うまいもんまつり」は開催時期も異なり別々に行われていましたが、今年は同時開催で内容もさらに充実したものになりました。

第1回目となった水の郷うまいもんまつりは両日とも天候に恵まれ、町外からも車やバイクなどで多くの方が来場され、昼食や夕食時には多くの来場者で会場が埋めつくされ用意したテーブルに座れないくらい大盛況でした。

会場には、味付マトンケバブ、只見のソバや郷土料理などをはじめ福島県内外から様々なうまいもんが集まりました。また、会場店舗のスタンプ3つで1回抽選ができる抽選会も行われ、多くの方が3品以上購入し抽選をしているようでした。ステージでは様々なイベントが次々に行われ、美味しいものでお腹を満たし、ステージイベントでも楽しめたまつりになりました。

水の郷  
うまいもん  
まつり  
2014



オープニングセレモニーのブナりんキャラクターソング発表会に集まった子ども達



◀ うまいもんまつりに集まった奥会津のゆるキャラ達。左からブナりん(只見町)、かぼまる(金山町)、からむん(昭和村)うとちゃん(柳津町)

ステージイベントの中でも子ども達に人気だった「ピエロのナナ」のコメディショー

イワナを目掛けてダイブ! 10月ですがまるで夏のようです!!



▲ 追いかけてまわしてイワナを見事に捕まえました



▲ 夜は只見音研コンサートや歌謡ショーが行われ会場を盛り上げました



▲ 1日目の締めくくり。只見スキー場からの打上花火

12日には同会場でトリムウォーク&トリムランが行われ、今年は特別ゲストとして風間深志さんとワッキーさんに参加頂きました



◀ 参加者は気持ちの良い秋空の下3.5キロ、5キロ、10キロのコースをマイペースで完走、完歩しました



## 只見町における新種サンショウウオの発見と 希少生物の保護・保全について

10月8日、只見町ブナセンターは、会津若松市役所記者クラブで、只見町における新種サンショウウオの発見と希少生物の保護についての記者会見を行いました。会見に際して、新種サンショウウオを報告した国立科学博物館・特定非常勤研究員の吉川夏彦氏に同席いただきました。会見の内容は以下のとおりです。

### ■新種サンショウウオ発見の経緯

只見町には、これまで3種類のサンショウウオ（ハコネサンショウウオ、トウホクサンショウウオ、クロサンショウウオ）の生息が確認されてきました。そのうちのハコネサンショウウオについて、形態的に異なる個体が見られ、一部の研究者から別種ではないかと指摘されてきました。2013年、サンショウウオの専門家である吉川氏が来町され、別種と疑われるサンショウウオについて調査したところ、その形態的・生態的・遺伝的な特徴から、ハコネサンショウウオとは異なる新種であることを確認しました。さらに、2014年9月、吉川氏が筆頭著者とする新種を報告する論文が動物分類学国際誌に掲載されたことで、この種がハコネサンショウウオ属の新種であることが科学的に認められました。この新種は、只見地域を中心に生息することから和名はタダミハコネサンショウウオと命名され、学名(世界共通の名称)は *Onychodactylus fuscus* (オニコダクティルス・フスクス、黒いハコネサン

ショウウオの意)と名付けられています。これにより只見町に生息するサンショウウオ類は4種となりました。

### ■只見ユネスコエコパークでの 希少生物の保護・保全の必要性

只見町は、今年6月にユネスコのMAB計画における生物圏保存地域(国内呼称：ユネスコエコパーク)に新規登録を実現しており、今回の新種生物の発見も、只見地域の豊かな自然環境と生物多様性を証明するものであると考えられます。一方で、近年、只見町内ではフクジソウ、ヒメサユリなどの希少生物が一部の心無いマニアや採取業者により乱獲され、その存在が脅かされています。只見町はユネスコエコパーク登録によって、自然環境、野生生物の保護・保全に努めることが義務付けられています。今回発見されたタダミハコネサンショウウオをはじめユネスコエコパーク地域内に生息生育する野生生物の保護・保全を図るため、野生生物保護条例などの制定を検討する必要があると考えられます。



▲会見した鈴木和次郎(只見町ブナセンター館長、右)と吉川夏彦氏(左)

### タダミハコネサンショウウオの特徴

(写真提供： 国立科学博物館 吉川夏彦氏)

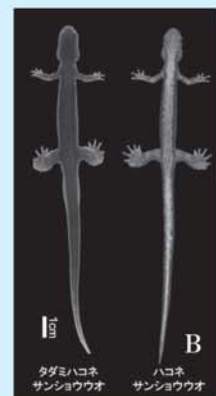
形態：タダミハコネサンショウウオは全長14-16cmで(写真A)、ハコネサンショウウオと比べて尾がやや短い、歯の列の間に隙間を生じる、などの違いがあります。また、ハコネサンショウウオをはじめとした近縁種に共通してみられる背面の斑紋やストライプを欠き、背面全体が暗褐色である点が大きな特徴です(写真B)。



生態：タダミハコネサンショウウオは晩秋から初冬にかけて産卵する「冬産卵型」であることが確認されており、一般的に初夏に産卵する「夏産卵型」であるハコネサンショウウオ(および他の近縁種)とは繁殖時期が異なっています。

分布：現在までに確認されている生息地は、只見町内と新潟県内です。ハコネサンショウウオと混生している生息地も確認されています。

この種についてはその分布域や生態について不明な点が多く、只見町はこの種の保護と生息場所の保全に努めます。また、町の「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業を通じて、引き続き吉川氏にその分布や生態についての継続的な調査研究を支援していきます。





# 秋季消防検閲式

10月19日、只見中学校駐車  
場を会場に秋季検閲式が行わ  
れ、消防団員、婦人消防隊あ  
わせ約170名が参加しました。

参加した団員は日頃の訓練  
の成果を発揮し規律のある動  
作を披露しました。また、各種  
表彰も行われ、団員の長年の功  
績を称えました。

表彰受賞者は次のとおりで  
す。(敬称略)



▲分列行進をする婦人消防隊

## ■消防団長表彰

- ▽優良章 五十嵐亮、横山清光
- ▽精績章 鈴木健、新国伸一、五十嵐讓、渡部一弘、菅家美徳、吉津邦弘、飯塚翼、酒井守、五十嵐剛、梁取茂弘、角田誠、二条昭一、矢沢裕也、梁取一樹、山内隆行、三瓶学、大東一臣、山内政邦

- ▽功績章 目黒康弘、五十嵐健司、河原田友成、目黒達矢、新国透、菅家大和、藤田曉嗣、渡部公栄、五十嵐徹、馬場正英、馬場大輔、矢沢悟、三瓶大樹、長谷川佑樹

## ■福島県知事表彰

- ▽永年勤続章 星正春、酒井雅喜、馬場芳也、岩渕秀一、五十嵐勝明、五十嵐一成、五十嵐陽、菊地正夫、佐藤憲、長谷部正隆、馬場博美、横山祐介、湯田恵一
- ▽親子等消防表彰 矢澤元則、矢澤一輝

## ■日本消防協会表彰

- ▽勤続章 佐藤泉太

## ■福島県消防協会表彰

- ▽功績章 吉津唯利
- ▽精勤章 横山修一、星健之、



▲県大会に出場したポンプ操法も披露

- 五十嵐勝明、五十嵐伸
- ▽感謝状 酒井敏、菅家英祐、新国善記、三瓶初男、湯田恵一、矢澤元則

## ■福島県消防協会南会津支部表彰

- ▽功績章 鈴木尚、馬場靖、五十嵐淳、目黒広信
- ▽優良章 目黒辰也、佐藤圭介、小林晋、角田順一、藁谷友活、渡部和志、菊地博、本名俊之、馬場秀明、五十嵐幹哉、菊地伸、佐藤隆一、梁取智之、五十嵐健司

- ▽勤続章 柳林一弥、目黒祐紀、三瓶竹伸、松永孝一、舟木努、馬場誠

## ■消防団退職表彰状(銀杯)

- ▽退職報償 菅家英祐、酒井敏、新国善記、三瓶初男、湯田恵一、矢澤元則、吉津英夫、増田功
- 町長・消防団長連名感謝状
- ▽感謝状 鈴木忠



▲目黒町長から通常点検を受ける団員



## 第44回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表 (3位まで)

競技	1000 m (男子) 800 m (女子)	100 m	80 mハードル	4×100 m リレー	走り高跳び	走り幅跳び	ソフトボール投げ
男子	1 高階 涼矢 (只・6) 3' 5 3" 2	目黒 拓海 (只・6) 15"8	吉津 優河 (朝・6) 18"0 (大会新)	朝日A 1'06"2	吉津 隼馬 (朝・6) 115cm	高階 涼矢 (只・6) 330cm	目黒 響 (朝・6) 45m69
	2 吉津 隼馬 (朝・6) 4' 0 2" 7	新國 太陽 (只・5) 16"0	山内 浩希 (明・5) 18"4	只見 1'06"5	渡部 春輝 (朝・6) 110cm	目黒 拓海 (只・6) 323cm	山内 浩希 (明・5) 42m78
	3 五十嵐 涼凱 (明・5) 4' 0 8" 2	渡部 春輝 (朝・6) 16"5	目黒 優斗 (朝・5) 18"6	朝日B 1'09"1	角田 翔太 (明・5) 110cm	小柴 翔天 (朝・6) 320cm	吉津 優河 (朝・6) 38m00
女子	1 目黒 楓華 (朝・6) 2' 4 8" 0	山中 千夏 (朝・6) 15"6	新国 理紗 (只・6) 15"4 (大会新)	朝日A 1'04"3	馬場 遊茶 (朝・6) 113cm	目黒 楓華 (朝・6) 360cm	山中 千夏 (朝・6) 42m42
	2 星 妃乃 (朝・6) 2' 5 3" 6	梁取 結花 (明・6) 15"9	馬場 遊茶 (朝・6) 15"6	只見A 1'05"2	鈴木 美羽 (只・6) 110cm	増田 実緒 (只・6) 346cm	新国 理紗 (只・6) 34m22
	3 鈴木 美羽 (只・6) 2' 5 5" 5	増田 実緒 (只・6) 16"2	馬場 菊 (朝・5) 16"3	明和A 1'06"5	菊地 結月 (明・6) 108cm	星 妃乃 (朝・6) 338cm	小林 聖佳 (只・6) 34m14

※氏名 (学校名・学年) です。なお、学校名は只：只見小学校、朝：朝日小学校、明：明和小学校の略です。



▲今年から競技の規格が変わった80mハードル



▲男子100M決勝のようす

町下運動広場を会場に只見・朝日・明和小学校の5・6年生が参加した小学校体育交歓会が10月1日に行われ、どの学校の児童達もこの日の為に練習を重ね、自己ベストを目指して競技に臨みました。多くの保護者の方も応援にかけつけたこの大会は、まず80mハードルや100m走、長距離を走るトラック競技が行われました。80mハードルは今年

からハードルの台数の増加や距離の変更が行われ、新たな規格となり、男女とも1位の記録は大会新記録となりました。トラック競技後に行われた走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げのフィールド競技で午前は終わり、午後の最終種目4×100mリレーで児童それぞれがベストを尽くし頑張った今年の大会は幕を閉じました。



▲トラック競技の疲れも見せずに大ジャンプ!

自己ベストを目指して!

# 小学校体育交歓会



# 第52回



## 只見町駅伝競走大会

▲一斉にスタートする選手達



▲かなりの雨の中もしっかりたすきが繋がりました



▲見事に1着でゴール!

10月13日の体育の日、今年で第52回目となった只見町駅伝競走大会が行われました。今年は町内外から26チームが参加し、日頃の健脚を競いあいました。

スタート時はまだ曇空でしたが、次第に雨が降り始め、途中かなりの雨となりました。しかし、その中でも選手達は力走を見せ、参加した全てのチームがたすきを繋ぎゴールする事ができました。

大会の成績は下記のとおりです。

<b>中学男子の部</b>	1位 只見中学校
2位 南会津中学校	
<b>中学女子の部</b>	1位 只見中学校
2位 南会津中学校	
<b>一般女子の部</b>	1位 南会津高校L
2位 うるわし☆レディーズ	
3位 坪井ランナーズ	
<b>男女混合の部</b>	1位 ふくしま駅伝下郷町
2位 会津中央病院	
3位 JA会津みどり	
<b>一般男子の部</b>	1位 南会津高校 陸上部
2位 南会津高校 スキー部	
3位 消防署A	

▶走り終わった選手達は只見町食生活改善推進委員会の美味しいトン汁で温まりました





## 只見町の広報員

### ふるさと大使に委嘱状を交付

おもに首都圏で只見町のPR活動などをおこなって頂く「ふるさと大使」に10月1日、只見町役場で委嘱状を交付しました。

現在、只見町のふるさと大使は8名おり、ほとんどの方が今期で3年目を迎えます。委嘱状交付後には大使それぞれの1年間の取り組みを活動報告として発表して頂き、その中では大使から町への事業提案なども行われ充実した意見交換を行う事ができました。



▲大使の皆さんへ今後も町のPRなどの協力をお願いする目黒町長

## 八十里越道路の進捗状況を

### 新潟県側から確認

10月5日、三条市が主催する八十里越体感バス事業に只見町民約20名が参加し、新潟県側から八十里越道路の進捗状況を確認しました。

参加者は、県境の9号トンネルまで続くトンネルや道路の進捗状況をガイドからの説明を受け確認していました。

また現在、八十里越道路工事の進捗状況が分かる看板が、歳時記念館と湯らりに設置してありますのでご覧下さい。



▲三条市のバスを降り現地確認する参加者の皆さん

## 明和小学校で

### 県小学校教育研究理科大会

10月16日、明和小学校で福島県小学校教育研究理科大会が行われ県内から多くの先生方が子ども達の授業を見に来られました。

この日行われた公開授業は3年生と5年生の理科の授業で、子ども達も多く先生方に見守られる中で授業で緊張したと思いますが、一人一人がしっかりと自分の考えを発表し、一生懸命勉強に取り組む様子を見せてくれました。



- ①3年生は太陽とかげの動きについての授業が公開されました
- ②5年生は流れる水の動きについて体育館で実験を行いました



講演会では素数の年に大発生するセミの特異な進化などが紹介されました



▲研究発表に耳を傾ける参加者

おもに関東地方の生態学を志す人々の集まりである虎ノ門生態学研究会の学習勉強会が10月11〜13日にかけて只見町内で行われました。初日に行われた公開講演会には町民なども参加され、吉田智弘氏（農工大）や吉村仁氏（静岡大）が生物多様性について講演し、河原崎ブナセンター事務局長からは只見の自然環境とセンターの活動が紹介されました。12日の研究発表会では白熱した議論が展開され、最終日には参加者で癒しの森を歩き充実した勉強会となったようです。

只見町で

虎ノ門生態学研究会の合宿勉強会

只見振興センター

基本構想説明会を開催



▲若年層を対象にした16日の説明会

10月16日と23日に只見振興センターで、今後建設を予定している只見振興センターの基本構想説明会を行いました。昨年から検討した結果をまとめた基本構想の概要版を基に説明を行い、参加者から意見を求めるや、旧只見中学校の再利用についてや、利用者が今必要としている施設についてなどの発言があり、活発な意見交換が行われました。今後も只見振興センター建設に伴う懇談会を予定しており、開催日はおしらせばんに掲載予定です。

固定資産評価審査委員に

菅家三雄さん(只見)



▲町長室で辞令を受ける菅家さん

10月2日、只見町役場で菅家三雄さんに只見町固定資産評価委員会委員の辞令が交付されました。固定資産評価委員会は、町とは独立した中立的・専門的な立場で固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査決定などを行います。菅家さんの任期は平成26年10月1日から平成29年9月30日までの3年間です。

人権擁護委員に

渡部 等さん(小川)



▲渡部さんの任期は平成29年9月30日までの3年間です

平成26年10月1日付けで渡部等さんが只見町担当の人権擁護委員として法務大臣から委嘱を受けました。人権擁護委員は、全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行う町民の皆さんにとって一番身近な相談相手です。





▲綺麗な紅葉をバックに六十里越で記念撮影



▲天気も良くとても楽しそうです



▲自転車を只見線で輸用する参加者の皆さん

## 南 只見の秋を自転車で楽しむ 会津・只見 紅葉サイクリング

10月25～26日、JR只見線・利用促進応援事業として南会津・只見紅葉サイクリングが南会津サポートクラブの主催で行われました。今回のサイクリングは、初日は森林の分校ふざわを出発し、只見線の不通区間の一部を見学。2日目は只見線を使って自転車を只見駅から大白川駅まで輸用し六十里越の紅葉をサイクリングで楽しみました。

2日間とも絶好のサイクリング日和で参加者は秋の景色を楽しみながらも只見線の現状を確認していました。

## お マンドリンの美しい演奏を子ども達に 話出てこいチンドン

10月7日、朝日保育所に大学のギターマンドリンクラブOB、OGの方が集まり、昔話の語りにマンドリン合奏を織り交ぜた複合舞台「お話出てこいチンドン」を公演されました。トトロのさんぽや赤とんぼなどが演奏され、子ども達は綺麗な音色に耳を傾け、一緒に歌ったりしてとても楽しい時間を過ごしました。



▲珍しい音色に興味津々の子ども達



▲ご家族と一緒に記念撮影

## 百 渡部琴子さん(小川) 歳賀寿おめでとうございます

渡部琴子さんが、10月17日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族の方同席のもと知事賀寿の贈呈式が自宅で行われました。賀寿や記念品が菅野南会津保健福祉事務所長や目黒町長から手渡されると、長男の良正さんが「今後も皆さんの支援をお願いします」と謝辞を述べました。

琴子さんの長寿の秘訣は食事は腹8分目にして好き嫌いをしないでなんでも食べるのだそうです。



## 「南アルプスユネスコエコパークの概要と将来への展望」 9月27日(土)

今年6月に只見ユネスコエコパークと同時に登録された南アルプスユネスコエコパークの現状について、登録にあたりご尽力された増澤武弘氏(静岡大学理学部特任教授)を招き講演をしていただきました。

南アルプスは、静岡県、山梨県、長野県の3県10市町村が含まれる広域のユネスコエコパークで、3,000m級の山々が連なる山岳地帯が核心地域(保護・保全される地域)に指定されています。増澤氏は、長年、高山植物の研究をされており、南アルプスにのみ生育する高山植物の調査研究とその保全対策について、峰に広がる花畑や希少植物、氷河に削られた岩石が生み出す特異な景観などをたくさんの美しい写真とともに、詳しく話されました。しかし、ここ10数年でシカやサルが高山にまで侵入しており、高山植物を守るため防獣ネットの開発や、人による盗掘への対策として高山植物の園芸化による商業価値を下



▲南アルプスの美しい写真とともに説明していただきました

げる工夫を行っているということでした。

南アルプスでは、対象地域が広い住民への周知や関係県・市町村間の情報共有、土地所有者への許可承認などで苦勞をされているとのことで、ユネスコエコパークごとの事情の違いから、只見ユネスコエコパークと只見町の特色を改めて知る良い機会となりました。

## 「沼ノ平のブナ林を歩く」9月28日(日)



▲天候にも恵まれ素晴らしい景色を見る事ができました



▲参加者で記念撮影

澄み渡る青空のもと素晴らしい登山日和に恵まれ、沼ノ平の観察会を行いました。通常はガイド同伴で入山するコースとなっていますので、参加されたみなさんの期待も大きかったと思います。町内、町外合わせて17名の方に参加いただき、前日のブナセンター講座の講師である増澤先生も同行いただき、充実した観察会となりました。

登山口からはゆっくりとしたペースで登り、途中、八十里古道やブナの二次林などの解説を挟みながら1時間半ほどで大きな杉のある山神杉に到着しました。ここから先はブナの巨樹が立ち並ぶ原生林となります。伸びやかなブナの森を歩いているとみなさんの顔からも自然と笑みがこぼれていたように思います。しばらく森を満喫すると、このコースの最大の難所である小三本沢の渡渉へと続きます。幸いにも天気が良く水量が少なかった事に加え、参加者の協力もあり無事に渡ることができました。ここから先の沼ノ平は、3年前の豪雨災害の影響で地形が変化した箇所もありますが、それも自然の力ということで興味深い観察ができたと思います。折り返し地点の風穴では、土石流に埋まった地面からたくさんのブナの実生が芽を出しているのを観察しました。天候に左右されることの多いこのルートですが、今回は大満足の秋の一日となり、参加者からは良かったとの声が多く聞かれました。



# 広報たのみ診療所

朝日診療所  
医師 榎田 啓十



## 「正しく手洗いをしてインフルエンザを予防しよう」

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては肺炎や脳症などを併発し重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

### ○インフルエンザの特徴

インフルエンザはインフルエンザウイルスが体内に入り込むことによって起こります。

予防接種はインフルエンザの発症する可能性を減らし、もし発症した場合でも重症化を防ぐ効果があります。絶対にインフルエンザにならないわけではありません。

### ○感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」

インフルエンザウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の2つがあります。飛沫感染は感染者のくしゃみや咳、つばと一緒にウイルスが放出され、別の人がそのウイルスを吸い込み感染します。接触感染は感染者がくしゃみや咳を手で押さえ、その手で周りのものに触れることで、ウイルスが付着します。他者がそのものに触れ、触れた手で口や鼻などの粘膜を触ることで感染します。

飛沫感染を防ぐためにはマスクの着用、接触感染を防ぐためには正しい手洗いが大切です。

### ○手を洗うタイミング

帰宅時、咳やくしゃみを手で押さえた後には手を洗います。

インフルエンザに限ったことではありませんが、トイレの使用後や食事前の手洗いも大切です。

### ○正しい手洗いとは

ウイルスは石鹸に弱いので、石鹸を使用します。図に示した順番でしっかり手を洗うようにしてください。特に爪先、親指、手首は洗い残しが多いので、意識して洗うようにしてください。

正しい手洗いを実践し、  
インフルエンザを予防しましょう!

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



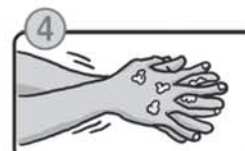
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石鹸で洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## 地域おこし協力隊として vol.6 地域おこし協力隊 末谷 広大

### 『リニューアル』

只見町の知名度アップと、更なる只見町山村教育留学制度利用希望者の拡大、只見高校入学希望者の増加を図るために、只見町HPの山村教育留学制度の内容を大幅にリニューアル予定で、フェイスブックも新たに作成しております。山村教育留学生在が町民と一緒に頑張った町民運動会をはじめイベントに参加している様子や、何かに取り組んでいる様子、また只見高等学

校・只見町山村教育留学制度の説明会、体験入学などの情報を不定期ではありますが、可能な限りアップしていこうと思いますので、ご興味のある方は是非のぞいてみてください。

話は変わりますが、先日只見でみぞれが降ったと役場裏で発掘を担当している教育委員会の賢史さんに聞きました。11月はまだまだ秋の感覚でいましたが、雪の降る季節がもうそこまで近づいていることを非常に感じるやりとりでした。



### 只見野鳥雑記 ①

#### セキレイたちの 栄枯盛衰

▼今月号から六回連載で  
只見の野鳥シリーズが  
始まります。執筆は野  
鳥観察歴三九年という  
新国勇さんです。

▼鳥の世界でも、特定の  
鳥が増えたり減ったり  
しているようです。ま  
た、只見ならではの鳥も  
いるとか。今回の連載  
で、じっくり解説して  
いただきます。



▲左からキセキレイ、セグロセキレイ、ハクセキレイ  
(いずれも雄)

セキレイの仲間は、私たちの  
身近で見られる馴染み深い鳥で  
す。日本には五種類のセキレイ  
が確認されていますが、只見町  
ではキセキレイ・セグロセキ  
レイ・ハクセキレイの三種類がい  
ます。いずれもスマートな姿と  
長い尻尾を上下に振る習性があ  
ります。

よく知られているキセキレイ  
は、黄色い腹が印象的な鳥です。  
三月下旬、チチン、チチンとやさ  
しい声で春の訪れを知らせてく  
れます。玄関先の郵便ポストの  
上や庭の鉢などに巣をつくって  
繁殖し、夏を迎えるころには見  
られなくなりす。人家付近に  
巣を作るのは、ヘビやカラスな  
どの天敵から逃れるためです。  
あえて人の生活空間に入り込  
み、人を用心棒としているので  
す。ツバメも同じ行動をとりま

す。人の方では、キセキレイもツ  
バメも害虫を食べる益鳥なの  
で、捕まえるとバチがあたると  
か火事になるとか言って大事に  
してきました。子育てを保障す  
るかわりに、害虫駆除をお願い  
していたわけで、お互い持ちつ  
持たれつの関係でした。

セグロセキレイは、白と黒の  
ツートンカラーという粋なかつ  
こうをして一年中生息していま  
す。川原でチーチージョイジョ  
イジョイと鳴きながら飛びまわ  
り、川原の周辺に巣を作つて子  
育てします。三月ころから、人家  
近くの電線に止まってさかんに  
さえずりますが、主な生息場所  
は河川周辺です。

ハクセキレイも白と黒のセキ  
レイで、セグロセキレイとよく  
似ています。しかし、ハクセキ  
レイはその名のとおり顔が白つぽ  
いので、顔が黒いセグロセキ  
レイと区別できます。鳴き声もセ  
グロセキレイと比べると、にご  
りがなく澄んだ声です。このハ  
クセキレイは、四〇年ほど前の  
只見町ではたいへん珍しい鳥で



▲今ではすっかり数が減ったセグロセキレイ

一九七〇年代ころには東日本へ  
も侵入していったようです。一  
方、セグロセキレイは二〇一三  
年からまったく見かけなくなっ  
てしまいました。キセキレイの  
方は、かろうじて残っています  
が、ハクセキレイに押され気味  
です。

只見町では、キセキレイをセ  
キレイ、セグロセキレイをカー  
ラジョージと呼んでいました。  
カラジョージとは、おそらく  
川原掃除の意味で、尻尾をせわ  
しなく振る動作をほうきではく  
姿にたとえたものと思われま  
す。当然ながら最近になって増  
えたハクセキレイに方言名はあ  
りません。

セグロセキレイは日本特産種  
で、世界的には珍しいセキレイ  
です。日本固有の鳥が世界じゆ  
うに分布する鳥に追い立てられ  
ているのを見ると、鳥の世界も  
グローバル化してきているとい  
えそうです。見方を変えれば、地  
域特有の生態系が失われ、世界  
中が似たような環境に変わって  
きているのかもしれない。





# 町民文芸

## 只見短歌会 九月詠草

大塚栄一 指導

我が地域祭りの神輿や子等減るも老いも若きも集ひ賑はふ  
関谷登美子

手の先の胡瓜の花を飛び移る丸き蜂ありいと頼もしき  
小倉キミ子

夕暮るる遅夏の日の穂やかに早生の稲穂は黄金色なす  
馬場 八智

庭の花さりげなく活け口数の少なき夫は退院待ちし  
古川 英子

数十年欠かさず日記をつけし母父逝きし後空白目立つ  
新国由紀子

目の手術終へ来し庭に甲高く鶉鳴きぬ子の初彼岸  
五十嵐夏美

氏神の祭りの幟眺めつつ喪中にあれば遠く手合す  
渡部ゆき子

膝庇ひ摺まり立ちする友人の力が我が肩にかかるも  
目黒 富子

刈り取りの終りし田にはいち早く落穂啄む鴉群がる  
渡部ヨリ子

見てくれと言はむばかりに背伸びして爪研ぐ猫に柱は白し  
新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会 十月例会

目黒十一 指導

峠越え早高々と十三夜  
修一  
秋の田や戌辰の無念思わゆる  
朝採りの野菜を添えて芋の月

滝の霧浴びて紅葉の人となり  
一穂  
西瓜切る音希望へと続く道  
草刈るは無心の境地今朝の秋

秋の月食声を密めて仰ぎけり  
敦子  
己れ立つ富士の地肌や霧晴るる  
秋色や逃げる幼子早きこと

皆既月食素足で見上げる闇の空  
吉児  
カナヘビの眼傾げる豆筵  
秋澄むやマラソン選手迂曲る

松坂峠くんだりし星の夕紅葉  
邦男  
栗虫の栗食む声の仏間より  
近づけば声を発する案山子かな

赤錆の鉄路や背高泡立草  
順子

新築の祝いの破魔矢薄紅葉  
礼

稲架作る人影遠き声遠き

近づくれば声を発する案山子かな

近づくれば声を発する案山子かな



# 今月の お知らせ

## 電話番号

総合政策課 地域振興係	財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係		☎ 82-5210 ☎ 82-5050
町民生活課 税務係 町民係		☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係		☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係		☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係		☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係		☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室 議会事務局		☎ 82-5120 ☎ 82-5300
農業委員会 教育委員会		☎ 82-5230 ☎ 82-5320
学校給食センター 只見保育所 朝日保育所 明和保育所 朝日診療所 (歯科) 訪問看護ステーション		☎ 84-7180 ☎ 82-2219 ☎ 84-2038 ☎ 86-2249 ☎ 84-2221 ☎ 84-2612 ☎ 84-2130
こぶし苑 只見振興センター 朝日振興センター 明和振興センター		☎ 84-2101 ☎ 82-2141 ☎ 84-2111 ☎ 86-2111

## 税 今月の納期

11月25日までに

納めましょう

- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 後期高齢者医療保険料(4期)
- 介護保険料(5期)

## 募集

### 町民文芸コンクール 作品募集中

第38回町民文芸コンクールの作品を募集します。今年度より新規部門(フォト短歌部門、フォト俳句部門)を設けましたので、皆様のご応募をお待ちしています。

#### ●応募部門・資格

▽作文の部

町内小・中学生

▽詩の部

町内小・中・高校生及び一般町民

▽俳句の部

町内小・中・高校生及び一般町民

▽フォト俳句の部(新規部門)

一般町民

▽短歌の部

町内小・中・高校生及び一般町民

▽フォト短歌の部(新規部門)

一般町民

#### ●応募規定

【部門共通のきまり】

① 題は自由(短歌、俳句はつけなくてもよい)

② 用紙は400字詰原稿用紙を使う。HB以上の濃い鉛筆を使用すること。ワープロ原稿も可能としますが、20字×20行の書式で作成すること。

③ 作品は未発表のものに限りません。

【作文の部】

小学生1年生は、原稿用紙2枚、2年生以上は原稿用紙3枚以上5枚以内とする。

中学生は、原稿用紙4枚以上6枚以内とする。

【詩の部】

原稿用紙5枚以内とする。

【短歌・俳句の部】

各々1人1作品とする。

【フォト短歌・フォト俳句の部】

テーマは自由。1句に句に関連する写真1枚(Lサイズ)を添

付する。

#### ●応募方法

小・中学生及び只見高校生は学校へ、それ以外の方は教育委員会に直接お届けください。また、作品には必ず住所・氏名(ふりがな)・年齢を記入してください。作品は原則として返却いたしません。

#### ●応募締切

平成26年11月28日(金)

#### ●審査・入賞

部門ごとに審査し、結果を「広報ただみ」で発表します。また、入賞は本人に通知し、表彰式を行います。

#### ▼問い合わせ

教育委員会事務局

☎ 0244-1182-5320

## イベント

### 南会津病院

「院内コンサート」のお知らせ

福島県庁混声合唱団「ぎびたき」による演奏会が開催されます。素敵なハーモニーを聴きながら楽しいひとときを過ごしてみませんか?

●日時 12月6日(土)

午後2時開演(約45分間)

#### ●場所

南会津病院エントランスホール

南会津町永田風下14-1

#### ●入場料

無料

(事前の申込みも不要です)

#### ▼問い合わせ

南会津病院事務局(総務)

☎ 0244-1162-7111

## お知らせ

地上デジタル放送難視対策の各種支援が終了します

国が実施している地デジ難視対策のための各種支援制度は、平成27年3月末をもって終了し

## お詫びと訂正

広報ただみ10月号で誤りがありました。平成25年度「自然首都・只見」応援基金事業報告(P8)で寄附をいただいた皆様の欄に「本名辰蔵様」とありますが、正しくは「本名辰義様」です。

大変申し訳ありませんでした。お詫びして訂正いたします。

総務省  
地デジコールセンター  
☎ 0570-07-0101



## 「笑ってストレス解消！」

「笑いでこころとからだを健やかに」

「笑い」と健康」について真剣に研究され、全国的に活躍されている大平哲也先生をお招きし、「笑い」の効能をわかりやすく解説していただきます。

毎日の生活の中に「笑い」を取り入れる方法を覚えれば、上手にストレスを発散することも期待できます。ストレスへの新しい対処法として注目されている「笑いヨガ」をいっしょに体験してみませんか？

●日 時：平成26年12月8日(月)

午後6時30分～午後8時

●会場：季の郷 湯ら里

●講師：福島県立医科大学 疫学講座

教授(医師)大平 哲也 先生

〈日本笑い学会理事〉

循環器疾患をはじめとする生活習慣病、認知症などの身体・心理的リスクファクターの研究及び心理的健康と生活習慣との関連についての研究や運動、音楽、笑いなどをはじめとする効果的なストレス解消法についての実践的な研究を行っています。

●問い合わせ

保健福祉課 保健係 ☎84-70005

## 町長の手帳

### 町長スケジュール〈10月分〉

- 1日 湯ら里役員会、ふるさと大使委嘱状交付式・懇談会
- 2日 道の駅 湯川・会津坂下開所式・祝賀会(湯川村)固定資産評価委員辞令交付式、只見復興センター建設検討委員会
- 3日 県道小林館ノ川線期成同盟会要望活動(南会津町・福島市)
- 4日 全会津芸術文化振興大会
- 5日 河井継之助没後147年法要・市民の集い(長岡市)
- 6日 南会津町村長会議(南会津町)、会津地区JA合併構想説明会・懇談会(会津若松市)
- 7日 庁議
- 9日 国道289号八十里越開通に向けた事業(県境)
- 11日 水の郷うまいもんまつり、生物多様性について語ろう
- 12日 水の郷まつり(沼ノ平登山)
- 13日 只見町駅伝大会
- 15日 福島県鉄道活性化対策協議会要望活動(新潟市)
- 17日 渡部琴子さん百歳賀寿、柏市ふるさと協議会連合会視察研修
- 18日 町づくり元気塾、佐藤雄平氏御尊父告別式
- 19日 只見町秋季消防検閲式
- 20日 会津地区国有林野等所在地元市町村長有志協議会(会津若松市)
- 21日 只見町議会全員協議会、八十里越視察見学会・交流会(只見～三条市)
- 22日 宝生流宮下みやび会発表会
- 25日 会津会総会・懇親会(東京)
- 26日 南郷トマトまつり(南会津町)
- 28日 除雪安全祈願祭・除雪始動式(南会津町)
- 29日 福島県森林・林業・緑化協会役員会(福島市)
- 30日 福島県町村会役員会、県選出国会議員との意見交換会(東京)
- 31日 県選出議員との朝食会、復興大臣等に対する要望活動(東京)

### 『「自然首都・只見」ブランド』

11月1日、名古屋イオンモールで開催された会津の物産祭りに出席してきました。これは、会津17市町村が参加する「桜咲く会津復興プロジェクト協議会」がイオンの協力により開催した会津全域の大規模な物産販売促進会で、地元食材で作られた惣菜がフロア狭しと並べられ、会津食材の豊かさに改めて感動しました。少し前までは遠慮された地元産品が、ここまで受け入れられるようになってきたことも実感しました。

只見ユネスコエコパークを紹介するブースも設けられ、3D画像による只見の自然紹介は子ども達を中心に人気を呼んでいましたが、施設全体で3万人の来客がある場所なので、紹介方法を工夫すればもっと只見の魅力を伝えられたのではないかと思います。

来客の方々は、「自然首都・只見」という名前の響きの良さに興味と好印象を持たれていたようでしたが、これは只見町の価値を表す地域ブランド名です。分かりやすくさらに明確にそのブランド価値を高めるため、具体的な取組み、活動をおこす手法として取り入れたのがユネスコエコパークで、ここが大切なポイントだと思います。今年も役場若手職員のプロジェクトチームがエコパーク事業の検証と新たな事業提案に取り組んでおります。次年度の取組みには町民の皆さんからも提案を頂ければと考えておりますので皆様のご協力をお願いします。

只見町長 目黒 吉久



# 町民の消息

(10月1日～10月31日届出分)敬称略

## ■おくやみ申し上げます

佐藤 實	89歳	入叶津
赤塚 哲郎	65歳	長浜
吉津 忠	79歳	長浜
菅家 ふくよ	92歳	長浜
五十嵐 恭子	72歳	塩ノ岐
五十嵐 揚一	83歳	蒲生
長谷部 悟	81歳	叶津

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成26年10月1日現在

人口	4,555 (-23)
男	2,216 (-8)
女	2,339 (-15)
世帯数	1,800 (-11)
高齢化率	43.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 16 出生 2 死亡 13

△昨年の只見の紅葉時期は11月になってからだったかと記憶しています。今年10月中旬には見頃を迎えていました。

▽綺麗な紅葉の写真を撮ろうとシャッターを何度も切りましたが、自分の目で見える景色と写真に収めた景色は違うものでした。自分の目ではとても綺麗に感じた景色も、写真では何か物足りなさを感じます。その場の雰囲気や匂い、肌に当たる風が秋を感じさせ、景色をさらに綺麗に見させてくれるのだと思います。写真も良いですが、見たい景色は直接その場所に行つて見る事を私はおすすめします。

(吉津)

## あとがき

生涯学習推進員  
湯田 千穂

明和振興センター  
図書室 ☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★マスカレード・イブ



著 東野圭吾  
(集英社)

前作「マスカレード・ホテル」より前の話という設定で長編ではなく、短編、しかも連作集。警察とホテルマンの立場での話が、最後の章で混じりあう構成で、ぜひ「マスカレード・ホテル」を読んでからこの本を読んでみてください。大作家なだけあってとても人気な本です。

## ★だいすき!絵本からうまれたおいしいレシピ



著 きむらかよ、  
晶子、  
伊能勢敦子  
(宝島社)

子供と一緒に絵本を読んで、その後にそのお菓子を再現する!きっと子供には、とってもうれしい記憶になると思います。子供が絵本を楽しめる本であり、大人の方にも、「懐かしい!大好きだった絵本のお菓子ができる!」と思える一冊です。

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております。利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。

## 町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



## ヒロロ(ミヤマカンスゲ)

(学名: *Carex Multifolia*)

[ カヤツリグサ科 スゲ属 ]



ミヤマカンスゲは北海道から九州の山地に広く分布し、多年生草本で毎年春先に新しい葉を展開し古い葉と置き換わります。常緑で冬にも緑色の葉を保っています。高さは20~50cmほどになり、葉は根元から多数生えて線状で幅が5~10mmで強靱です。根元の鞘は赤褐色~赤紫色なのが特徴です。只見町ではヒロロと呼ばれていて、町内の山野に自生しています。

只見町では、マタタビ、アケビ、クルミ、ヤマブドウ、シナ皮など様々な天然資源を利用した伝統工芸が受け継がれています。ヒロロ細工もそのひとつで工芸品として細かな模様を編み込んだバッグなどが作られています。昔から冬の手仕事としてヒロロを使って蓑、ハバキ、コシカゴ、ショイカゴなど生活用具が作られてきました。ヒロロは9月頃に採取し、束ねて風通しの良い場所で乾燥させてから、株でまとまっている束をほぐして縄をより、その縄を編み組み作り上げていきます。右上の写真は、町内の方が作った美しい模様のバッグ、乾燥させたヒロロと縄です。

企画展示

「只見の天然資源とその利用」

期間:10月25日(土)~12月28日(日)まで

ブナセンター  
料理教室

「只見のそばを食べる！」

日時:11月22日(土) 10:00~13:00頃

講師:平出 美穂子 氏

予約・問い合わせ先: 只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください